

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公表番号】特表 2007-511323 (P2007-511323A)

【公表日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2007-017

【出願番号】特願 2006-541148 (P2006-541148)

【国際特許分類】

A 4 7 B 21/013 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

【F I】

A 4 7 B 21/013

G 0 6 F 1/00 3 1 2 U

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端部 (6 4) および第 2 の端部 (7 8) ならびに上面および下面を有する少なくとも 1 つのアーム (1 6) と、

前部取付点 (8 4) において各アームの前記第 1 の端部 (6 4) に取り付けられたキーボードトレイ (1 5) と、

後部枢動点 (6 2) において各アーム (1 6) の前記第 2 の端部 (7 8) と係合された少なくとも 1 本のレール (5 0) と、

前記前部取付点 (8 4) と後部枢動点 (6 2) との間に延びる第 1 のアーム軸 (9 0) と、

各アーム (1 6) の前記第 2 の端部 (7 8) の前記下面に沿って配置された位置決め表面 (8 2) と、

装着面 (4 2) に対して固定可能であり、かつ、各位置決め表面 (8 2) に係合するように配置された少なくとも 1 つの位置決め機構 (7 0) と、

前記アーム軸 (9 0) と前記アーム位置決め表面 (8 2) との間に概して垂直方向に規定されたアーム位置決め寸法 (9 2) とを備え、

前記後部枢動点 (6 2) が前記少なくとも 1 つのレール (5 0) に沿って概して直線方向に並進可能であり、

前記アーム位置決め寸法 (9 2) が、前記位置決め表面 (8 2) の前記後部枢動点 (6 2) から最も遠位の部分から前記位置決め表面 (8 2) の前記後部枢動点に最も近位の部分へ増加するように前記アームの厚さが変化する、装着面 (4 2) に固定可能な調整可能キーボード支持アセンブリ (1 0) 。

【請求項 2】

各々第 1 の端部 (6 4) および第 2 の端部 (7 8) ならびに上面および下面を有する、実質的に鏡像構成された 2 つのアーム (1 6 , 1 8) と、

前部取付点 (8 4) において各アームの前記第 1 の端部 (6 4) に両側 (3 4 , 3 6) に取り付けられたキーボードトレイ (1 5) と、

各々後部枢動点 (6 2) において 1 つのアームの前記第 2 の端部 (7 8) と係合された

、実質的に鏡像構成された２本のレール（５０，５６）と、
前部取付点（８４）と後部枢動点（６２）との間に延びる第１のアーム軸（９０）と、
各アームの前記第２の端部（７８）の前記下面に沿って配置された位置決め表面（８０）と、
前記位置決め表面（８０）内に配置された少なくとも１つのノッチ（２０Ａ）と、
装着面（４２）に対して固定可能であり、かつ、各位置決め表面（８２）に係合するよう
に配置された少なくとも１つのＬ字型位置決め機構（７０）と、
前記アーム軸（９０）と前記位置決め表面（８２）との間に規定されたアーム位置決め
寸法（９２）とを備え、
前記後部枢動点が前記レールに沿って概して直線方向に並進可能であり、
前記アーム位置決め寸法（９２）が、前記位置決め表面（８２）の前記後部枢動点（６
２）から最も遠位の部分から前記位置決め表面（８２）の前記後部枢動点（６２）に最も
近位の部分へ増加するように前記アームの厚さが変化し、
前記位置決め表面（８２）が前記サイドアームの前記第２の部分（７８）を前記レール
内である可変水平距離並進させると前記サイドアームの前記第１の部分（６４）のある垂
直距離の並進を生じるような形状をしているとともに、前記水平距離と前記生じた垂直距
離との関係が線形である、装着面（４２）に固定可能な調整可能キーボード支持アセンブ
リ（１０）。

【請求項３】

前記キーボードトレイが、
前記第１のアーム（１６）と第２のアーム（１８）とに対する前記キーボードトレイの
回転を防止するように係合されているとともに、前記第１のアーム（１６）と第２のア
ーム（１８）とに対する前記キーボードトレイ（１５）の比較的自由な回転を可能にするよ
うに解除されるように構成されている係止装置（１１０）をさらに備える、請求項２に記
載のアセンブリ。